

桜が美しく咲き誇り、皆様の新生活の船出を彩ってくれています。本日、令和七年度入学式を盛大に挙行できますこと、ご参列いただきましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました附属中学校四十名、高等学校二百四十名の入学生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を心待ちにしていた本校職員を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

みなさんは茨城県立下館第一高等学校の第百四回生として、そして同附属中学校六回生として入学を許可されました。本校は創立以来、商業科、工業科、総合学科、普通科、附属中学校併設と、時代の要請に対応する変化を惜しまない学校として、自主自立の校風のもと、地域の期待と希望を背負い、知徳体を鍛え育み、社会で活躍する優秀な人財を数多く輩出し、郷土の発展に寄与して参ったことは周知のこと。新しい生活への幕開け、希望に満ちているのではないのでしょうか。

本校での教育活動全体で様々な経験が積めるよう「仕掛け」を準備しています。まずは安心して本校の流れに身を任せてください。今、本校では「?⇒!」のスローガンのもと、学びの本質と学ぶ楽しさの実感や、教科やテストにとらわれない真の学びの提供に努めています。疑問「?」が解決「!」する爽快感がまさにそれです。教科科目の学習では知識量に眼を奪われがちですが、これから先は探究に代表されるように、教科の枠では収まらず、様々な要因が融合した複雑な問題に直面し、多くを結集しなければ解決できないことばかりに出会います。こんなときこそ、「?」を楽しむ人が高い知識を持って集い、協働して、合意形成することで突破口が見いだせるものだと考えます。皆さんには本校での学びから多くの成功体験を得て、内発的動機により学びを深め、社会をリードする人財として、地域から世界を見通せる人物になってほしいと願います。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。生徒の成長は共通の願いです。学校教育は家庭教育の基盤の上に積み重ねられるものです。家庭、学校、地域の三者がともに手を携えて、生徒の成長を見守ってまいりたいと思いますのでご理解とご協力をお願い致します。

入学生のみなさん、今日の喜びと感謝の心を忘れることなく、有意義な学校生活を送ってください。多くの仲間を作ってください。これから始まる館一での学校生活で、持ちきれないほどの一生の宝を手にするよう祈念し、式辞といたします。

令和七年四月八日

茨城県立下館第一高等学校・附属中学校長 木村 功